

- 1 主題名 思いやりの心 2－(2) 思いやり
- 2 資料名 スポーツ少年団 下手な子迷惑？（読売新聞夕刊 2017年5月2日 発行）

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

思いやりとは、自分ではなく、相手にとってどのようなことが望ましいかをふまえて行動することである。その意味では、社会に生きる人間として最も大切な心情であり、すべての人にこの思いがあれば、よりよい人間関係、そして社会が形成されるはずである。しかし、競争が厳しい状況などでは、自分のことや属している集団にとってよいことを第一に考えるために、個々の人間に対する思いやり、特に弱者に対する思いやりを忘れてしまうことがある。中学生にあてはめて考えると、自分の成績を上げることを第一に考え、無駄だと思ふ仕事をやろうとしなかったり、行事などでの勝利を第一に考えるあまり、うまくできない仲間に心ない言葉をかけたりすることがあるのではないだろうか。

そこで本時では、ある母親がインターネット上に投稿した質問とそれに対するレスポンスが掲載された新聞記事を取り上げる。いかなる状況でも、様々な立場の視点から考えなければならないことを学ばせたい。そして、どんな場合でも、相手を理解し、思いやりの心をもつことを忘れてはいけないことを生徒たちに気づかせたい。

(2) 生徒について

道徳の授業では、複数の生徒が率先して発言し、活発な意見交換をすることができる。優しい生徒が多く、人間関係は良好である。本時では、一人一人の個性や能力を認め、上手くできない人間に対して「迷惑」という感情をもつことは許されないということや、そのような人間にこそ深い思いやりの心に気がつかせてくれる存在であることを学ばせたい。

(3) 資料について

本資料は、スポーツ少年団に息子を通わせる母親の悩みを投稿したものである。野球が好きな息子だったが、なかなかうまくならず、試合でも活躍できない。そんな息子の存在は、チームの中で目障りであり、迷惑なのかを問いかけている。それに対してのレスポンス（返事）の内容は、様々である。

本時では、「仲間との関係を考えて、チームを辞めずに頑張らせるべきだ。」という意見と、「劣等感を感じさせるぐらいなら、チームを辞め、得意な分野を探すべきだ。」という意見を提示する。そして、相反する内容の2つのレスポンスを取り上げ客観的に考えさせる。その後、この問題の根底にある、母親や息子が悩んでいることの原因に言及する。スポーツチームである以上、勝敗にこだわるのは当たり前であり、同じ目的をもった集団であることは、学級とは性質が大きく異なるかもしれない。それでも、周りの言動について大きな問題があり、それが自分たちの身近なところでも起こりうる課題であることに気づかせるきっかけとしたい。

(4) 指導について

道徳について、新学習指導要領では、課題に対して多面的・多角的な考え方でものごとを捉え、考えを深めることが求められている。また、「考え、議論する道徳」をキーワードに、より活発で、主体的に問題解決をしようとする授業づくりをしていかなければならない。そのため、日頃から道徳の授業では、生徒の心をゆさぶるような発問をすることを心掛けてきた。道徳の授業において、自分の考えを堂々と発表したり、違う立場の意見を聞いたりしてさらに自分の考えを深める習慣や能

力をつけることが、本校の研究主題である「自ら学び、考え、高め合う生徒の育成」を全教科で実践するための大切な素地になる。本時では、母親の投稿に対しての相反する意見のレスポンス（返信）を比較し、検討することから意見を求める。最終的に、そのような投稿に至った問題点、そしてそのことを踏まえた上で、自分ならどのようなレスポンスを返すのかを考えさせる。そしてさらに、自分たちの学校生活にも関連付け、他者を認め思いやる心を、どんな状況でも忘れてはいけないことと、それに伴った行動をしようとする態度を育てたい。

4 本時のねらい

思いやりの根底にある人間への深い理解と共感を認識し、どんな状況でも思いやりのある行動をしようとする心情を養う。

5 準備物

ワークシート、新聞記事

6 本時の展開

段階	学 習 活 動 ○活動（ゴシック体：表現する活動） ・予想される生徒の反応	指導上の留意点 ・指導・支援									
導 入	○自分の苦手なことを考える。	・誰にでも多様な苦手なことがあることを確認する。									
展 開	<p>○新聞記事を読む。</p> <p>○2つのレスポンス記事を読み、どちらの考えに共感できるか考える。</p> <table border="1" data-bbox="239 1041 933 1243"> <thead> <tr> <th data-bbox="239 1041 582 1075">&lt;チームをやめない&gt;</th> <th data-bbox="590 1041 933 1075">&lt;チームをやめる&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="239 1086 582 1120">・最後まで続けたほうがいいから。</td> <td data-bbox="590 1086 933 1120">・才能がないなら、違うことで見つけたほうがいいから。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="239 1131 582 1164">・あきらめなければ上手になるから。</td> <td data-bbox="590 1131 933 1164">・楽しくないなら、きつとうまくな</td> </tr> <tr> <td data-bbox="239 1176 582 1209">・下手なことは迷惑じゃないから。</td> <td data-bbox="590 1176 933 1209">ないから。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○母親からの記事について考える。</p> <table border="1" data-bbox="239 1276 909 1332"> <tr> <td data-bbox="239 1276 909 1332">この記事が提示している問題は何だろう。</td> </tr> </table> <ul data-bbox="239 1355 901 1467" style="list-style-type: none"> <li>・うまくできないから迷惑というのはおかしい。</li> <li>・一生懸命頑張っている子を目障りだというチームは最低だ。</li> <li>・能力は人によって違うから、認めてあげてほしい。</li> </ul> <p>○自分の学校生活を振り返る。</p> <ul data-bbox="239 1545 853 1624" style="list-style-type: none"> <li>・提出物が遅いときに「早くして」ときつく言っていた。</li> <li>・行動が遅くても助けず、無視していた。</li> </ul>	<チームをやめない>	<チームをやめる>	・最後まで続けたほうがいいから。	・才能がないなら、違うことで見つけたほうがいいから。	・あきらめなければ上手になるから。	・楽しくないなら、きつとうまくな	・下手なことは迷惑じゃないから。	ないから。	この記事が提示している問題は何だろう。	<ul data-bbox="973 963 1436 1545" style="list-style-type: none"> <li>・何が息子にとって最善なのかを考えながら、状況をつかませる。</li> <li>・前段階での意見を取り上げ、矛盾している内容があればさらに考えさせる。</li> <li>・苦手な子がいるとき、本当に思いやりがあれば何ができるかを考えさせる。</li> </ul>
<チームをやめない>	<チームをやめる>										
・最後まで続けたほうがいいから。	・才能がないなら、違うことで見つけたほうがいいから。										
・あきらめなければ上手になるから。	・楽しくないなら、きつとうまくな										
・下手なことは迷惑じゃないから。	ないから。										
この記事が提示している問題は何だろう。											
終 末	○自分の考えでレスポンスを書く。	・母親と息子の状況を考え、自分なりの考えを書かせる。									

7 授業の観点

本時で取り上げた新聞記事や発問は、本時のねらいを達成するために有効だったか。

8 反省

9 ご高評